

第 18 回中央日本交流・連携サミット開催報告

中部圏広域での産学官連携活動をテーマに開催し、「中部圏広域産学官連携協議会」を設立することとした。

日 時：2022 年 2 月 21 日（月）13:30 ～ 15:45

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル 16 階 アゼリア

出席者：

（県・市）

長野県 関副知事（Web 出席）、岐阜県 平木副知事（Web 出席）、静岡県 出野副知事（Web 出席）、
愛知県 加藤副知事、三重県 廣田副知事（Web 出席）、名古屋市 中田副市長

（国の機関）

中部経済産業局 田中局長、中部地方整備局 堀田局長、中部運輸局 嘉村局長（Web 出席）

（大学）

信州大学 中村学長（Web 出席）、岐阜大学 王副学長（Web 出席）、静岡大学 日詰学長（Web 出席）
名古屋大学 佐宗副総長、三重大学 伊藤学長（Web 出席）

（中経連）

水野会長、佐々木副会長、中田副会長（Web 出席）、碓井副会長

小川専務理事、栗原常務理事、平松常務理事事務局長

計 21 名

開催内容：

1. 報告事項 広域での産学官連携活動状況と今後の活動・論点

継続活動中の広域観光・広域防災・デジタルスキルの底上げについて活動状況の報告を実施した。

【広域観光】

- ・アフターコロナを見据えたインバウンドを含めた観光需要の回復と地域間競争の激化に向けた準備として、観光に関するデータを蓄積・分析し、有効に活用するデータマネジメントプラットフォーム（以下DMPと記載）の構築を進めてきた。その結果、三重県の「ソーシャルリスニングデータ活用事業」にて活用されることとなった。
- ・今後は、三重県の事業の遂行とDMPの活用事業の拡大を図る。

【広域防災】

- ・S I P 4 D（内閣府の基盤的防災情報流通ネットワーク）の中部圏への円滑な導入と産業界におけるS I P 4 Dの利活用の拡大に向けた検討を実施してきた。
- ・今後は、S I P 4 Dへの産業界の参画について検討を深めていく。

【デジタルスキルの底上げ】

- ・主に入門・初級レベルを対象とした無料で学べるオンライン学習や、中部圏の行政や大学が主催する研修・セミナーの情報を一元的に閲覧できる web サイト「中部圏デジタルのすすめ」を昨年 10 月 10 日デジタルの日に立ち上げた。

- ・中部圏の大学生・大学院生に中小企業のデジタル化・DX推進の啓発につながる動画コンテンツを作成してもらい、3月中を目途に上記 web サイトに掲載する。
- ・今後は、「中部圏デジタルのすすめ」の掲載情報の充実、先進事例紹介ページの新設、広報活動の強化に取り組む。

2. 意見交換 「今後の広域での産学官連携の取り組み」

広域での産学官連携の重要性、効果が期待される活動、先進的な取り組みの共有等、以下の広域課題に関する今後の取り組みについて意見交換を実施した。

※広域観光、カーボンニュートラル、広域防災、イノベーション、中部圏長期ビジョン、デジタル化・DXの推進、モビリティ等

災害時における「三次元点群データ」の有効活用や観光施策における「データマネジメントプラットフォーム」等、先進事例の共有や、「DXコミュニティ」、「カーボンニュートラル」に関する新たな広域の連携活動の提案がなされた。

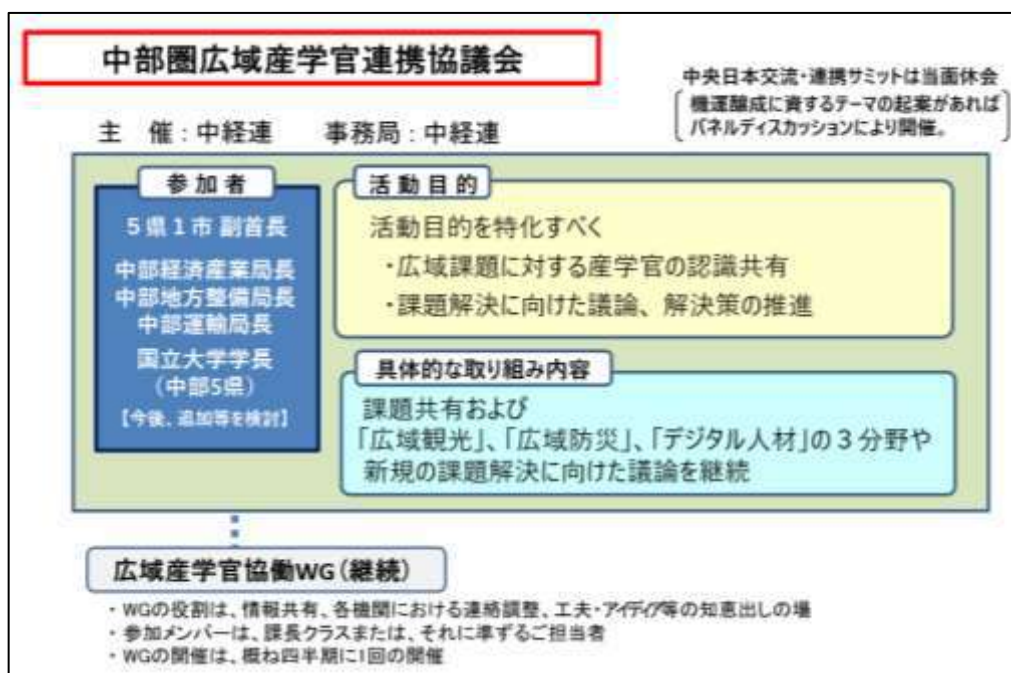
3. 議題 「新たな会議体の設立」

- ・広域での産学官連携活動をテーマとしてサミットを開催するのは今回で三回目となる。
- ・観光・防災・デジタルなどの具体的な活動も進捗してきたことから、過去二回のサミットにおける議論を一步進める形で、活動テーマを**広域での産学官連携に特化した会議体「中部圏広域産学官連携協議会」**について提案し、設立することが決定した。

本協議会の活動目的は、**広域課題に対する産学官の認識の共有と課題解決に向けた議論、解決策の推進の2点**である。参加機関からの提案を受けた活動も推進していく。

今後は本協議会を中心として広域での産学官連携活動を進め、中部圏の持続的発展に繋げていくこととしたい。

【中部圏広域産学官連携協議会 概要】



以上